

「取り組みに理解」と歓迎

専門家 実効性求める声も

ゲーム依存対策 条例「合憲」判決

【予防、治療に取り組み...】
 者として励みになる判決...
 だ。ゲーム障害に詳しい...
 国立病院機構久米浜医療セ...

【予防、治療に取り組み...】
 者として励みになる判決...
 だ。ゲーム障害に詳しい...
 国立病院機構久米浜医療セ...

ゲーム依存対策条例を巡る経過

- 2019年
- 3月 県議会にてネット・ゲーム依存症対策を考える超党派の議員連盟が誕生。県議全41人が参加
- 5月 世界保健機関(WHO)の総会で「ゲーム障害」が新たな疾病に正式認定される
- 9月 全会派の県議計14人でつくる対策条例の検討委員会が発足
- 1月 検討委が条例の素案をまとめる
- 1~2月 条例素案のパブリックコメント(意見公募)を2週間実施
- 3月 政府が国会で「ゲーム依存症を防ぐためのゲーム時間の制限に係る科学的根拠は承知していない」と答弁
- 18日 県議会で条例案が可決、成立
- 4月1日 条例施行
- 5月25日 県弁護士会が条例廃止を求める会長声明を発表
- 9月30日 高松市の高校生(当時)と母親が高松地裁に提訴
- 2021年
- 3月 意見公募の過程で不正があったとして県民らが県警に告発状を提出
- 4月25日 原告が訴えの取り下げを申し入れ
- 5月16日 高松地裁が取り下げを認めず結審
- 2022年
- 8月30日 高松地裁が条例を「合憲」と判断、原告の請求却却の判決

生活や健康の問題につながる、医療機関が対応を余儀なくされている」と認めた。性や健康の問題につながる、医療機関が対応を余儀なくされている」と認めた。性や健康の問題につながる、医療機関が対応を余儀なくされている」と認めた。

点を歓迎。「本来、ゲームは楽しいものであり、ネットも生活には欠かせない。ただ、やり過ぎると生活に支障が出る。対策の必要性について背中を押してもらった」と捉えた。

子どものネットリスク教育研究会(東京)の大谷良光代表は、条例制定の合理性を認めた判決に「司法が上段階にある」とみる。医療現場では依存症予防や治療に携わる人材や相談窓口が不足している。子どもとスマホの関係に詳しい兵庫県立大の竹内和雄准教授は「新型コロナウイルスの感染拡大もあり、子どもがネットに触れる機会は増えている。子どもはもろい。周囲の大人がリスクに理解を深める対策も欠かせない」と要望した。

情報リテラシーに詳しい成蹊大の高橋勝子客員教授は、条例がゲームやスマホの利用時間の目安を示していることについて「利用時間の制限や、夜間に利用しないよう求めることは依存症予防として効果的とは言えない」と指摘。「ゲームやネットの使用が生活や健康に支障を来さないようにするのが条例の本来の目標のはず。依存症にならないよう自身自身をコントロールできる支援など、より実効性のある取り組みを探るべき」と求めた。

近畿大の村中洋介准教授(地方自治法)は、公権力による利用時間などの規制は「ネットやゲームは悪魔」とする見方を広げることにつながりかねないと言論を鳴らす。「eスポーツやユニバーサルといった職業に対する子どもの関心は高く、大人の都合で子どもの将来の可能性を排除するような制約をしてはならない」と話す。

同市の無職男性(66)は「ゲーム依存症といっても人それぞれ度合いが違う。一律に考え、条例で時間の目安を定めるのはおかしいのではないか」と話した。

依存症への理解を深めたといえる」と評価。子どもたちに限らず、高齢者もネットの利用機会が増え、健康被害が出ているとして「香川県を先頭に、ネットリスクへの認識が広がってほしい」と期待を寄せた。

「ゲームやネットの使用が生活や健康に支障を来さないようにするのが条例の本来の目標のはず。依存症にならないよう自身自身をコントロールできる支援など、より実効性のある取り組みを探るべき」と求めた。

近畿大の村中洋介准教授(地方自治法)は、公権力による利用時間などの規制は「ネットやゲームは悪魔」とする見方を広げることにつながりかねないと言論を鳴らす。「eスポーツやユニバーサルといった職業に対する子どもの関心は高く、大人の都合で子どもの将来の可能性を排除するような制約をしてはならない」と話す。

同市の無職男性(66)は「ゲーム依存症といっても人それぞれ度合いが違う。一律に考え、条例で時間の目安を定めるのはおかしいのではないか」と話した。

性側に取材を試みたが、連絡がつかなかった。小学6年の息子と傍聴した高松市の主婦岡川博美さん(52)は「ゲームをプレイしている姿を見ると無理には奪えない」とした上で「これからは条例が示す時間を参考にゲームとうまく付き合っていきたい」と話した。同市の会社員男性(58)は「ゲーム依存症は社会問題の一つで妥当な判決と感じた。目安は必要だろう」と振り返った。